



# 定山溪もりづくり発表会を開催しました

「地域のもりから学ぶ森林づくり発表会」を二月二十五日に定山溪中学校内で開催し、平成二六年度に実施した森林教室の報告や定山溪中学校の生徒による研究発表を行いました。また、北海道大学研究員の春木雅寛先生から特別講話をいただきました。



定山溪中学校校長から、「さっぽろ環境賞生物多様性保全部門札幌市長賞」の表彰状の授与を行いました。校長からは、「今回は、森林教室等での本校ならではの特色のある学校教育について、活発的で他の模範となる活動として評価していただきました。生徒達には、今後も環境保全等について学びつつ、ふるさとを大切に思う豊かな心になっていただきたいと思っています。」



## 主催者あいさつ（北海道森林管理局技術普及課長）



定山溪の森は、札幌市の良質な水を育んでいる水源の森です。定山溪中学校の皆様方には、森づくりの活動をつうじて、森林の役割や自然との関わり等について学習していただいております。

今年は、皆様方の森林整備活動を高く評価されて、「さっぽろ環境賞生物多様性保全部門札幌市長賞」を受賞されました。これは、皆様方の先輩達から引き継がれて活動されてきた積み重ねの功績だと思います。今後もより活発な取り組みを期待しております。本日は、今年度一年間の皆様方の活動についての発表を楽しみにして参りました。 よろしくお願ひ致します。

## 今年度の活動報告（石狩地域森林ふれあい推進センター所長）

今年は、GPSを用いた緑地の面積調査や斜面の向きによる植生の違いを調べた森林教室、いろいろな測定機材を用いて樹木の大きさを調べた森林教室、無意根山登山をしながら保護林や緑の回廊について学んだ森林教室、奥定山溪から採取した稚幼樹を中学校内で苗木に育ててから山に植え戻す森林教室等の活動を実施しました。皆様方には、森林保全の重要性や生物多様性等について学んでいただけたかと思っております。



## 札幌市立定山溪中学校

中学生からは、今年度の主な活動の「円山動物園、生涯学習総合センター、青少年科学館等での研究発表」、「エルプラザでの環境コンテストの参加」など、様々な場面で発表を行った内容を紹介していただきました。

小学5年生の時から森林教室等で学んできた「種から苗を育てたこと」、「自動撮影装置を活用して森林の中

の動物や昆虫等の生態について学んだこと」、「山から取った稚幼樹を学校で育て山に植えたこと」、「自分達が植えた苗木の被害について自動撮影装置で調べたこと」、「定山溪の水やダム目的、役割について学んだこと」、



「登山をしながら森林や緑の回路について学んだこと」などについて説明があり、森林教室等とおして「身近に自然のある素晴らしさ、森林の大切さ、自然を守る気持ち等をあらためて強く感じた。」「これらのことを先輩に引き継いで、地元定山溪の森林を守っていききたい。」と報告がありました。



## 特別講話 「定山溪の森林と水」

北海道大学総合博物館研究員

春木 雅寛

春木先生から、「定山溪の森林と水」と題して会場の参加者にわかりやすく講話していただきました。

「みなさん、冬の雪が積もった森林の中で、木の根元だけ雪がないのですが、なぜでしょう?」「暖かいときに木の根元だけ溶けていき、このような現象がおきます」「樹木は、冬も生きています。森林の中には雪を早く溶かす木と遅い木があります」と講話が始まり、「落葉の役割」「雪解け時の針葉樹・広葉樹の違いや特徴」「樹木の根の話」「森林の中の水の流れ」「阿寒町やえりも町などの事例からみる植林による水を育む効果」などの話があり、会場の参加者は、真剣なまなざしで聞き入っていました。「森林の知識が増えました」、「森林のメカニズムが理解できました」、「定山溪以外のこと、」も知ることができました。などの感想がありました。

